

冬休みの生活について

寒い日が続いていますが、保護者の皆様には、ご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、いよいよ、子供たちが楽しみにしている冬休みが始まります。

コロナの影響を受け、大変なご苦労があるかと思いますが、冬休みは、家族と過ごしたり、心に残る思い出をつくったりするよい機会です。下記の点をお子様とご確認いただき、有意義な冬休みとなるよう、ご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

安全な生活

1. 【家庭生活の安全】

(外出時)

- 外出する時は、防犯ブザーを身につけましょう。
- 遊びに出る時は、「どこへ、だれと、何をしに行くか、何時に帰るか」を、家の人にはっきりと伝えてから出かけましょう。
- 夕やけチャイムが鳴るまでには家に帰りましょう。 (16:30)
- ◎おこづかいの使い方を考えましょう。お金を持って遊びに行ったり、友達同士で金銭や物品の貸し借りをしたりしないようにしましょう。

(帰宅時)

- エレベーターに乗る時や、玄関を開け前には必ず周りを確認しましょう。

(在宅時)

- ◎友人の名前や電話番号を聞き出そうとするなどの不審な電話には応じないで、すぐに警察に電話をしてください。その後で学校に連絡してください。

2. 【携帯電話・スマートフォン】

ネット利用の注意点 ※家族できまりを話し合ひましょう。

- ★画面を見続けることによる視力低下や睡眠不足を招くので気をつけましょう。
- ★ネット上の情報にはまちがいやうそがふくまれているので、見ぬく力がないと、ふり回されてしまいます。家の人と一緒に見るようにしましょう。
- ★時間や言葉づかいなどを気にせず自分の都合で一方的にメールを送ってしまい、自分だけでなく友達的生活リズムを乱したり、深く考えずに書いた言葉が相手を傷つけたりすることがあります。よく考えて送信しましょう。
- ★ネット上に個人情報をのせると不特定多数に見られ、思わぬトラブルや被害にあうことがあります。写真などの個人情報のはせないようにしましょう。

3. 【交通安全】

- 交通規則を守り、交通事故に注意します。
 - ・交差点では必ず立ち止まり、左右を確かめてから渡りましょう。(自転車に乗っている時も、交差点では必ず一時停止をして安全を確かめましょう)
 - ・キックボード、一輪車は公園で乗ります。(車道で乗りません)
 - ・自転車の2人乗り、子供だけの遠乗りはやめましょう。
 - ・明治通りや中山道では、自転車は歩道を通ります。

4. 【地域】

- 公園では、ルールを守り、周りをよく見て、みんなが気持ち良く遊べるようにしましょう。
- 工事現場、駐車場などの危険な場所では絶対に遊ばないようにします。
- 誘拐や事件・事故につながるひとり遊び、ひとり歩きはしません。
- 不審な人を見かけたら、まず警察へ連絡します。その後、学校へお知らせください。
- 「いかのおすし」の約束を確認する。特に、知らない人についていきません。何かあったら、大声を上げる、近くの家や「こども110番」の家に逃げ込むとともにすぐに警察に連絡します。
- ゲームセンターやカラオケなど、繁華街へは行きません。
- マンションや道路で他の人の迷惑になること(大声を出す、ゴミを散らかす、など)はやめましょう。

健康な生活

- 早寝早起き等規則正しい生活をしましょう。
- 病気のある人は、この期間を利用して治療を受けましょう。
- 3つの密を避け、正しい手洗い、咳エチケットを忘れず、行いましょう。
- 毎朝検温をして、健康観察カードに記入しましょう。

家庭

- 年末年始はすすんで家庭の仕事を分担し、家族の一員としての自覚をもちましょう。
- 冬休みも引き続き、お子様の健康観察をお願いいたします。
- 十分な換気をしましょう。
- 家族等で飲食店を利用する場合、感染防止徹底宣言ステッカーを掲示している飲食店を利用しましょう。

その他

○交通事故や大きなけが等が起きた場合には、必ず学校に連絡してください。

(12月29日～1月4日の期間は北区教育委員会教育指導課
3908-9287に連絡をお願いします。)

※1月4日は学校閉庁日となります。

(谷端小学校 TEL 3916-1155)

○新型コロナウイルス感染症に関する連絡は、別紙学校からお配りしているお便りをご参照ください。

野鳥との接し方について

○死亡した野鳥など野生動物は、素手で触らないでください。また、同じ場所でたくさんの野鳥などが死亡していたら、お近くの都道府県や市区町村役場にご連絡ください。

○日常生活において野鳥など野生動物の排泄物等に触れた後には、手洗いとうがいをしていただけたければ、過度に心配することはありません。

○野鳥の糞が靴の裏や車両に付くことにより、鳥インフルエンザウイルスが他の地域へ運ばれる恐れがありますので、野鳥に近づきすぎないようにしてください。特に、靴で糞を踏まないよう十分注意して、必要に応じて消毒を行ってください。

○不必要に野鳥を追い立てたり、つかまえようとしたりするのは避けてください。

鳥インフルエンザウイルスは、野鳥観察など通常の接し方では、ヒトに感染しないと考えられています。

正しい情報に基づいた、冷静な行動をお願いいたします。

